THE 9th

GOOD NEIGHBORS JAMBOREE 2018

A BEAUTIFUL DAY IN KAGOSHIMA















Photo. Shuichiro Minami

2018年8月18日 (土) 11:00 OPEN / START かわなべ森の学校









写真 上段左から県外ゲスト: スチャダラパー、 otto&orabu(しょうぶ学園)

Photo.Shuichiro Minami

下段左から県内ゲスト: 川辺地域住民との活動の様子、 企業とのコラボレーション Good Neighbors Joint「ユナイテッ ドアローズ × 金井志人(金井工 芸)」泥染めの様子と完成したグッ ドネイバーズ・ジャンボリーT シャツ 鹿児島県南部の「かわなべ森の学校」を舞台にした 音楽、クラフト、食、デザインとジャンルを超えたク リエイティブのフェスティバル「グッドネイバーズ・ ジャンボリー」。毎年、地域の人々と県外からのゲスト が交流する場としても注目されているなか、2018年の ゲストミュージシャンに「スチャダラパー」が決定し ました。



森の奥の廃校に毎年約2000人が来場。

音楽、食、デザイン、クラフトと 多様なコンテンツが 55 以上集結。

「グッドネイバーズ・ジャンボリー」は、鹿児島県南部の川辺町にある 廃校"かわなべ森の学校"を舞台にした野外フェス。会場は鹿児島を行き 交う人々のターミナル駅鹿児島中央駅から車で40分。深い森の奥にあり ながら、毎年の来場者は約2000人にのぼります。飛行機や新幹線を使っ て県外から、そして家族や友人と車を乗り合わせて県内各地からの来場者 も多く、この森で真夏の1日を過ごす方々の憩いの場となっています。

グッドネイバーズ・ジャンボリーでは、ライブに加え、レクチャー、ワークショップ、そして地元を中心としたレストランのポップアップショップなどコンテンツは年々充実し、その数はなんと 55 以上。ゲスト、出店(展)者、来場者がこれらの活動をもとに出会い、グッドネイバーズ=良き隣人たちの交流がこの森で繰り広げられます。





Photo. Shuichiro Minami

みんなでつくる真夏の文化祭。

森の中の自然あふれる「かわなべ森の学校」で過ごす大人と子どもの夏休み。

今年で9回目の開催を迎えるグッドネイバーズ・ジャンボリーは、クリエイティブな活動を森のなかの 廃校で楽しむ参加型のフェスティバルです。

音楽、クラフト、アート、食、文学、映像からスポーツまで、ジャンルをこえて行われるたくさんの コンテンツは大人も子どももさまざまな形で参加できるようにプログラムされています。

地元鹿児島からだけでなく、日本全国〜海外からも多くの良き隣人たちが旅をしてやってくる このお祭りに参加しませんか?

そこにはきっと思いもかけない新しいことやつながりがみつかるはずです。

ことしも夏の終わりの美しい日に、森の学校でお会いしましょう!

グッドネイバーズ・ジャンボリー実行委員会 坂口修一郎

_ 「グッドネイバーズ・ジャンボリー2018」の見どころ

[1] 音楽、食、デザイン、クラフト-多様なクリエイティブが集まる。

グッドネイバーズ・ジャンボリーは、2010年にスタート。当初から、地域プレイヤー(鹿児島を拠点に活動する人々)と、県外ゲストとの交流を大切にし、ジャンルの枠を超えて積極的に行ってきました。ステージで繰り広げられるライブやDJはもちろん、多様なテーマをもとにゲストを迎えて行うトークイベント、各地のフードを味わえるポップアップショップ、大人同士や親子で体験するワークショップとバラエティに富んだコンテンツをお楽しみいただけます。



Photo. Shuichiro Minami

[2] 出演者、委員会スタッフとサポーターとフェスティバルをつくる。

実はこのグッドネイバーズ・ジャンボリーには、毎年、東京、福岡など、県内外から参加の学生、社会人の方々50名以上の方が作り手として参加してくださいます。「地元に貢献したいから」「鹿児島が好きだから」「ジャンボリーに興味があるから」などその理由はさまざま。関わる人々が自由にディスカッションをしながら、このフェスティバルを作り上げていきます。

今年は、《ワークショップ》、《フード》、《ステージ》、《ごみステーション》、《広報 PR》、《プロジェクト企画》、《地域連携》、《ボランティアサポーター》、《グッドネイバーズ準備リー》と 9 つのチームに分かれて展開。広報チームは、県外からの参加者に向けて食や観光、買い物スポットについてブログの作成を通して地域の魅力を発信していきます。(7月 WEB 上にて公開予定)

[3] 9回目を迎えて地域連携がかたちに。6月に川辺地域の方々と 法人を設立し、恒常的な活動を行います。

会場の"かわなべ森の学校"は、1933年に建設された長谷小学校が89年に廃校になり、その後、地域の方々との議論を重ね、広く開かれた場所となりました。数々のイベントがここで催されるなか、グッドネイバーズ・ジャンボリーも周囲の地域を大切にしています。例えば、フェスティバル中に出るゴミの分別も、フェスティバルのプロジェクトのひとつとして参加者と地域の理解を深め、地区に合わせて20種類に分別する「ごみステーション」を運営します。

このような活動を積み重ねて8年。グッドネイバーズ・ジャンボリーは、 2018年より老朽化した本校の再生活動を中心にした地域密着の活動を、年間 を通して南九州市と協働して公民連携で行います



イベント本番時には飲食等で出る大量のゴミを川辺 地域のルールにあわせて来場者自身が 20 種類に分別 する仕組み「ごみステーション」をボランティアと運 営。運営:サクラジマ大学

[4] 地域プレイヤーと企業・団体が新たなステップへと向かう実験の場「Good Neighbors Joint」を始めます。

グッドネイバーズ・ジャンボリーはジャンルを超えたクリエイティブが集う場所。これまで様々な分野で創作活動を行う地域プレイヤーや、商品やサービスを広く提供する企業、団体などが来場していました。作り手、買い手と様々な人が出会い、語る、自由な空気に満ちたこの場所でこそできる新しい試み「Good Neighbors Joint」。地域プレイヤーと企業・団体のコラボレーション企画をぜひご覧ください。

GOOD NEIGHBORS JAMBOREE2018

グッドネイバーズ・ジャンボリー2018

2018年8月18日(土) 11:00 OPEN/START

かわなべ森の学校 鹿児島県南九州市川辺町本別府 3728-2

前売: ¥5,000 / 当日: ¥6,000

発売日:6月15日より一般発売開始。

※小学生以下無料 / ワークショップ参加費別途

※当日チケットは、前売り完売の場合、発売されない場合もあります。ご注意ください。

Live:

Special Guest: スチャダラパー

otto&orabu

Staycool from Taiwan

Cairophenomenons

南部式&ジャイアントストンプス

ラスファニーズ

LAGBAG MUSIC BAND

吉田耕平

DJ:川辺ヒロシ& GOOD NEIGHBOR DJs ほか

※GOOD NEIGHBORS COLLEGE 特別授業やワークショップ、フードのポップアップショップに映画上映など盛りだくさんのコンテンツを予定しています。追って、ウェブサイトおよび SNS(Instagram 、Twitter、Facebook)にて発表します。

主催:グッドネイバーズ・ジャンボリー実行委員会 後援:鹿児島県、南九州市

お問い合わせ:GOOD NEIGHBORS JAMBOREE http://goodneighborsjamboree.com/2018 「CONTACT」よりお問い合わせください。

- ◎地域との取組、出演/出店者、関連イベントほか詳細は順次、ウェブサイトで発表します。
- ◎広報のお問い合わせは下記までご連絡ください。グッドネイバーズ・ジャンボリー広報 四元 朝子(

グッドネイバーズ・ジャンボリー広報 四元 朝子(サンカイ・プロダクション合同会社)

contact@sankai-pro.com tel.080-4157-5531

参考資料

[ライブ スペシャルゲスト]

スチャダラパー

ANI、Bose、SHINCO の 3 人からなるラップグループ。 1990 年にデビューし、1994 年『今夜はブギー・バック』が話題となる。以来ヒップホップ最前線で、フレッシュな名曲を日夜作りつづけている。

デビュー25 周年となる 2015 年にアルバム『1212』を リリース。2016 年に『スチャダラ 2016 ~LB 春まつ り~』を開催し、ミニアルバム『あにしんぼう』をリリ ース。2017 年に『ミクロボーイとマクロガール/スチャダラパーと EGO-WRAPPIN'』、『サマージャム 2020』 の 2 曲を発売。



2018 年 4 月 8 日(日)に日比谷野外大音楽堂で『スチャダラパー・シングス』を開催し、 ライブ会場限定販売となる 4 曲入り CD『スチャダラパー・シングス』を発売した。 http://www.schadaraparr.net/

otto&orabu

鹿児島市にある障害者支援施設「しょうぶ学園」の主宰する otto(おっと)は、「心地よい不揃いの音」という独自の表現スタイルをコンセプトに、2001年に民族楽器を中心に結成したパーカッションバンドです。足並みがそろわない頑強にずれる音、パワーのある音、不規則な音が自由に、そして純粋に楽しくセッションすることによって、心地よい不揃いの音が生まれます。またヴォイスグループ orabu (おらぶ=鹿児島弁で「叫ぶ」の意)は、叫びのコーラス。ottoのリズムと orabu のヴォイスが絶妙のコラボレーシ



ョン空間を創造します。音楽は、即興的なイメージの組み合わせによる新しい音の発見と偶然性を大切にしながら、一貫してオリジナル曲で構成しています。見て楽しむ、聴いて楽しむ、ジャンルを超えて新しい音の世界を模索しています。「GOOD NEIGHBORS JAMBOREE」には第1回からレギュラー出演。高木正勝、UA 他様々なミュージシャンとセッションを行うなど、日本各地で演奏活動を続けています。2014 年には初の CD 音源「encounter」をリリース。